

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	<u>30</u>

事業所番号	3970700138
法人名	医療法人 島津会
事業所名	グループホーム かがやき
訪問調査日	平成21年2月4日
評価確定日	平成21年4月16日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について

外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3970700138		
法人名	医療法人 島津会		
事業所名	グループホーム かがやき		
所在地 (電話番号)	高知県四万十市駅前町5番20号 (電話) 0880-31-0607		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成21年2月4日	評価確定日	平成21年4月16日

【情報提供票より】(平成21年1月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成14年8月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13 人	常勤 13(内兼務2)人、非常勤 0人、常勤換算 7.8人	

(2) 建物概要

建物形態	併設 (単独)	新築 (改築)
建物構造	鉄筋コンクリート造り	
	3 階建ての	1 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,000 円	その他の経費(月額)	18,000 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	300 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(2月4日現在)

利用者人数	13 名	男性	1 名	女性	12 名	
要介護1	5 名	要介護2	4 名			
要介護3	2 名	要介護4	1 名			
要介護5	1 名	要支援2	名			
年齢	平均	83.8 歳	最低	75 歳	最高	91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	幡多病院
---------	------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

JR駅前の大通り沿いにある3階建ての建物を改築し、1～2階を事業所としている。間口の狭い敷地であるが、エンドウ、大根、ブロッコリーなどの野菜を植え、事業所内はフロアを広くとり、ゆっくり、ゆったりとくつろげる場になっている。職員が家庭的な雰囲気を大切にしており、利用者は穏やかな表情で生活している。管理者の熱意ある取り組み、職員の生き生きとした仕事振りが印象的で、男性職員の採用もホーム全体を活気づけることに一役買っている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での主な改善課題については具体的に改善計画を立て、改善可能な項目から順次改善している。
重点項目①	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員に自己評価票を配布し、それぞれの意見を記入し、意見交換をして自己評価に取り組んでいる。自己評価が、職員の新たな気づきを見出すとともに、これまでの取り組みを振り返る機会になっている。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	参加メンバーから意見や要望が多数出され、双方向的な会議になっている。特に家族から意見や要望、区長から地区での取り組み状況や意見などが出ており、事業所にとって有意義な会になっている。なお、毎回、ヒヤリハット報告があることから、サービスの質の向上を目指す取り組みを期待したい。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族からの意見等は主に、運営推進会議の時や来訪時、電話などで聞き、その都度、内容を検討して対応している。家族会が組織されていないため、事業所の行事の時に家族同士が集まる場を設けているが、行事優先となりがちである。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地区会に加入している。回覧板や区長からの声かけなどで地区の行事を把握して、小学校、保育園の運動会や地区防災訓練などに参加し、春と秋には神社の神輿が事業所を訪れるなど、地域との交流を図っている。また、近くの喫茶店へモーニングに行ったり、コンビニへ買い物に行ったりするなど、地域との触れ合いを大切にしている。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 「家族や地域の方との交流を支え……。」という、地域密着型サービスとしての独自の理念を作っている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 職員採用時、職員会、各種連絡会などで話し合い、意識づけを行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 常に理念を念頭に置いて利用者を自分の家族と思って支援しており、声をかける時や話を聞く時も常にやさしい笑顔で接している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 地域の小学校、保育園の運動会や地区防災訓練などに参加し、春と秋には神社の神輿が事業所を訪れるなど、地域との交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 全職員に自己評価票を配布し、それぞれの意見を記入し、意見交換をして自己評価に取り組んでいる。自己評価が、職員の新たな気づきを見出し、自分を振り返る機会になっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 前回評価での主な改善課題については、具体的に改善計画を立て、改善可能な項目から順次改善されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。</p> <p>参加メンバーから意見や要望が多数出され、双方向的な会議になっている。特に家族から意見や要望、区長から地区での取り組み状況や意見などが出ており、事業所にとって有意義な会になっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。</p> <p>外部評価で明らかになった課題について運営推進会議に報告し、参加メンバーからの意見を聞き、改善に向けて取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。</p> <p>事故報告書の提出、介護保険、事業所の運営についての相談等を行っており、また、生活保護担当者の来訪もあるなど、交流を図っている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。</p> <p>家族来訪時に、気軽に話せるように対応している。また、「訪れやすい環境について」というアンケートを実施するように計画している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。</p> <p>3カ月に1回「かがやき便り」を発行し、利用者の暮らしぶりが判る写真や担当者からのコメントを添えている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。</p> <p>金銭出納帳のコピーと支払先の領収書を3カ月に1回、全員に送っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 家族会は組織されていない。事業所の行事に合わせて家族同士が集まる機会はあるが、行事先行で家族同士の話し合いが出来ない場合もある。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 電話や来訪時、また、運営推進会議で家族からの意見や要望を聞き、その都度検討して対応するとともに、全員に周知し、サービスの質の向上に役立てるようにしている。	○	家族からの率直な意見を聞くためにも家族会を立ち上げるなど、家族同士が話し合える場を設けることを期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 同一法人が事業所を新設したため、事業所間の異動があったが、開設当初からの職員がいることや、引き継ぎ期間を新旧職員が重複して1カ月以上取ることで、馴染みの職員が継続的に支える体制を維持している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 職員の異動の際は、1カ月以上の引き継ぎ期間をとって、スムーズに移行できるように配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 職員の状況に応じて段階的にパート職員も含めて全職員が研修に参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 レポートを作成し、研修報告綴として全員が閲覧できるようにしている。また、職員会で研修報告を行っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 地域の同業者と交流し、互いに職員が見学や勉強会を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。</p> <p>本人や家族から情報を収集し、意向も確認して個人記録として残している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>お茶の時間に来訪してもらい、一緒にお茶を飲みながら見学してもらっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。</p> <p>理事長、管理者、職員等、複数で面接を行っている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>野菜づくりを教えてもらったり、お花を活けてもらったり、一緒に家事をしてもらうなど、常に「ありがとう」の気持ちで協働して生活している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>利用者が不安そうな顔をしている時、機嫌が悪くなった時、いつも食べる物を食べなくなった時など、利用者の気持ちを共感し理解するように努めている。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>日々の生活の中から利用者の希望や意向の把握に努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>本人の様子を見て職員間で話し合い、利用者の気持ちになって支援するようにしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 本人や家族から意見や意向を聞き、介護計画を作成している。家族の確認のサインももらっている。 <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 月1回、担当者と職員でカンファレンスを行っている。必要な時は、主治医の意見も聞いている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 3カ月に1回見直している。 <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 本人の状態に変化があれば計画を変更し、個別に期間設定を行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。 週2回の点滴を受けながら事業所で生活を送っている利用者もいるように、協力医療機関と連携して事業所で生活が継続できるように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。 利用者の特別な外出はほとんどないが、本人や家族の状況に応じて通院や送迎の支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 家族が同行できない場合は職員が受診支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 家族同行の受診結果は家族から連絡をもらい、職員が同行した場合は家族に連絡して情報を共有している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 「看取り介護の指針」を定め、入居後早い時期に説明し、家族の同意も得ている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるよう取り組んでいる。 食事が摂りづらくなった時点で、家族、医師、看護師、職員で話し合いを行い、本人や家族が納得した最期が迎えられるよう取り組んでいる。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 排泄介助の声かけを大声でしないなど、注意し合って支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 新規採用時及び普段の勉強会等で理解に努め、徹底している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。 話しかけや本人の態度などで把握し、買い物、散歩など柔軟に支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 朝、遅く起きる人にはそのペースを大切にするなど、自分のペースで暮らせるように支援している。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切にしている。 食事の下ごしらえ、食器洗い等、利用者と一緒に一連の作業を進めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 前回評価時には全員が弁当を持参していたことから、職員で話し合い、職員の経済的な負担や利用者の介助のために全員が同じものを食べることは困難だが、早出の職員が利用者と同じ物を食べるようにしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
23	57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。</p> <p>週3回以上入浴が出来るようにしているが、毎日入浴する人や夜間の入浴希望者への対応ができる体制は整えている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。</p> <p>話しかけや誘いかけを工夫し、支援している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。</p> <p>裁縫、活け花、ドライフラワー作り、野菜作りなど、利用者の経験や知恵を発揮できる場面を作っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。</p> <p>畑仕事、花の水やり、食器洗い、掃除、洗濯など、利用者に声をかけ、利用者が役割を持てるよう働きかけを行っている。</p>		
25	61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。</p> <p>近くの喫茶店にモーニングに行ったり、コンビニへ買い物に行ったりするなど、外出支援を行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。</p> <p>車いすの人も積極的に出かけている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。</p> <p>近くの児童公園や駅前周辺の散歩には日常的に出かけており、ドライブにも毎週出かけている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>居室や日中玄関に鍵をかけていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。</p> <p>利用者の外出傾向は把握しており、見守りや声かけを行い、利用者が納得するまで一緒に行動して支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえらる関係を築いている。</p> <p>近隣に民家は少ないが、馴染みのコンビニや喫茶店などに理解を求め、声かけや見守りをしてもらえらる関係を築いている。</p>		
27	71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p><input type="checkbox"/>事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。</p> <p>地区の防災訓練には職員が参加しているが、年2回の事業所の避難訓練には住民の参加協力は得られていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。</p> <p>避難路の確保と周知、消火器等の点検、非常用食料及び水の備蓄はできている。</p>	○	<p>災害等非常時の避難には地域住民の協力が不可欠であるので、運営推進会議や地区会への呼びかけを継続して行い、実現に向けて取り組むことを期待したい。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。</p> <p>一日の水分摂取量1500ccを目指し、食事、水分摂取量をチェック表に記入し、把握している。</p> <p><input type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。</p> <p>食中毒の予防のためとの理由で、刺身、生野菜、果物等生ものは出さないようにするなど、献立の内容に偏りが見られる。</p> <p><input type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。</p>	○	<p>体力を維持するためだけでなく豊かな生活をしていくためにも食事は欠かせないものであり、楽しみの一つでもある。定期的に栄養士等による専門的な観点からチェックを受け、栄養や食材、料理のバランスが取れた献立を工夫することを期待したい。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>既存のビルを改築した事業所であり、台所が奥にあつたり、お風呂・脱衣場・トイレが1カ所しかないなど手狭ではあるが、フロアは広く取り、ゆっくり・ゆったりくつろげるようにソファや椅子を配置し、テレビを置き、使いやすい空間になっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気や壊していない。</p> <p>事業所の行事の写真を貼り、利用者の楽しそうな雰囲気が窺える飾り付けである。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>玄関脇にエンドウ、ブロッコリー等、野菜を植え、フロアには菜の花や梅の花を掛け、季節感に配慮した工夫をしている。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。</p> <p>花が好きな人は居室内にも花を掛け、タンスなども本人や家族で相談し馴染みの物を持ち込んで工夫している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。</p>		